

通信網拡充事業



本事業により建設されたマイクロ波鉄塔

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	9,054百万円 / 8,154百万円
借 款 契 約 調 印	1988年11月
借 款 契 約 条 件	金利3.75%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1994年1月

[事 業 概 要]

ジャマイカ全国において、デジタル交換機、マイクロ波伝送システム、加入者ケーブル等を新設し、通信網を拡充することにより電話需要の増加に対処するもの。

[評 価 結 果]

本事業においては、全国13局において交換機（約39千回線）、マイクロ伝送システム（19ルート）及び加入者ケーブル（約32万対km）を新設するとともに電話機（約10万台）を供給した。

事業実施過程で、電話需要の変化に対応するため設置対象局や交換機容量を一部変更したが、事業は予定通り1991年末に完成した。

1986年には100人あたり3.2台であった電話密度は、事業完成後の1992年には7.2台に達しており、本事業は、同国で80年代後半に急激に増加し始めた電話需要への対応に貢献したものと評価される。

また、1990年には約8%であった障害発生率は、事業完了後の1992年には7%に減少し、その後も5%台で推移しており、本事業による電話交換機及び周辺設備の新增設等が通信の信頼性の向上にも繋がったことが窺える。

なお、1998年の通信法の改正により、同国の通信市場は段階的に自由化されつつあるため、今後、料金の見直しを含めたサービス向上と経営の効率化が課題である。